

年中行事の展示

きゅうおおいしけじゅうたく つきみかざ 旧大石家住宅のお月見飾り

きゅうおおいしけじゅうたく こうとうくもっと みんかけんちく していゆうけいぶんかざい けんぞうぶつ
旧大石家住宅は、江東区で最も古い民家建築で、江東区指定有形文化財（建造物）となって
います。19世紀半ば頃に建てられたと推定され、もとは東砂8丁目にありましたが、平成8年に
げんざいいち いちらくふくげん
現在地へ移築復元されました。

ねんじゅうぎょうじ かざ じゅうごや ちゅうしゅう
旧大石家住宅では年中行事にちなんだ飾り付けを年間5回行っており、9月は十五夜（中秋
めいげつ つきみかざ てんじ の名月）に合わせてお月見飾りを展示します。





きゅうおおいしけじゅうたく
旧大石家住宅

つきみ つきみかざ 月見とお月見飾り

つきみ なが かんしょう きゅうれき じゅうごや じゅうさんや
月見とは月を眺め鑑賞することで、特に旧暦の8月15日(十五夜)と9月13日(十三夜)の月

を指します。月を眺める習慣は中国から伝来し、当初は貴族の歌詠みや管弦の遊びでしたが、

かまくらじだいいこう ぶけ しょみん さくもつ しゅうかく かんれん ぎょうじ
鎌倉時代以降に武家や庶民に習慣が広がり、作物の収穫に関連する行事となりました。当日はス

かざり だんご いも かき くり しゅうかくぶつ そな ぎょうじ
スキを飾り、団子や芋・柿・栗などの収穫物を供えました。

きゅうおおおいしけじゅうたく つきみかざ てんじ
旧大石家住宅では、9月13日(土)から23日(火・祝)まで、お月見飾りを展示します。

開館日：土曜日・日曜日・祝休日

開館時間：午前10時～午後4時



昨年のお月見飾り